



ほけんだより



令和2年7月1日

きらら保育園

看護師:高芝・松川

★フール遊びのおしらせ★

6月25日より子ども達を楽しみにしているフール遊びが始まりました。フール遊びは夏ならではの遊びです。子ども達が、安全にそして楽しくフール遊びが出来るよう、保育士も安全管理に努めていきます。ご家庭でも子ども達が楽しく遊べるように健康管理をよろしくお願いします。

＜フールに入るための健康チェック＞

- 朝の検温時に、平熱より高い場合は、フールの前に保育士が再度体温を測り、フールに入れるかを判断します。
- 下痢、腹痛がある時は入れません。
- とびひや水いぼなど伝染性の皮膚の病気がある時は入れません。
- 体に化膿しているような傷がある時は入れません。
- ひどい目やに・目の充血がある時は入れません。
- ひどい咳や鼻水・喘息の発作が出ている時は入れません。
- 睡眠不足・食欲不振・疲労などで体調を崩している時は入れません。
- 抗生物質などの薬を飲んでいる時は入れませんが、アレルギーの薬など医師の許可があれば入れます。
- 手足口病・ヘルパンギーナは、熱が下がり、症状が落ち着いてから入れます。
- フール熱は、治癒証明書を出した後5日経ってから入れます。
- りんご病は顔や皮膚の赤みが消えてから入れます。
- しらみの駆除を行っている間は、入れません。予防の為に日頃から頭髪の清潔を保ちましょう。



★とびひについて★

夏に流行する病気のひとつにとびひがあります。とびひは細菌の感染によって起こる皮膚の病気です。幼児に多く発症します。汗をかきやすく、細菌の繁殖力が強まる夏は特にかかりやすくなる為、注意が必要です。主に擦り傷や虫刺され、あせも、湿疹などの皮膚に出来た浅い傷から細菌が入り込み、感染する事で発症します。しかし、早期治療を行えば短期間で治す事が出来ます。少しでもとびひの症状が疑われたら、すぐに小児科か皮膚科を受診しましょう。治療法は多くの場合、抗生物質の内服と塗り薬が処方されます。治療によって症状が和らいできても、お医者さんに指示された期間は必ず薬を続けることが大切です。また、とびひになった部分を清潔に保つことも大切です。家ではシャワーなどできれいに洗い流して、通気性の良いガーゼで覆って他の場所への感染を防ぎましょう。